

株式会社クロスリアリティ (京都府京都市)



問い合わせ先

- ・email: xr@sus-g.co.jp
- ・電話番号: 075-862-1806
- ・問い合わせページ

<https://www.crossreality.co.jp/contact/>

会社概要

- ・会社名: 株式会社クロスリアリティ
- ・URL: <https://www.crossreality.co.jp/>
- ・代表者名: 齋藤公男
- ・本社: 〒600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8 京都三井ビルディング5階
- ・事業所: 〒616-8163 京都市右京区太秦西蜂岡町9番地 東映京都撮影所内 VRIA京都
- ・資本金: 150百万円
- ・従業員数: 5名(2024年12月現在)
- ・株主構成: (株)エスユーエス70%、学校法人三幸学園30%



事業実績				
コンテンツ制作				
■VR	■AR	■MR	■その他(教育事業・講義・教材提供等)	
メタバース	■空間構築	□空間運営	デジタルツイン	□デジタルツイン
得意領域・対象業種				
■製造業	■建築	■教育	□医療ヘルスケア	
■観光・エンタメ	■イベント	□小売・EC	■その他(人材育成)	
対応デバイス				
■PC	■スマホ	■HMD等	■スマートグラス等	□ゲームハード
人材のスキル				
■Unity	□Unreal Engine	■C#	■C++	■JavaScript

主な事業・コンテンツ

・PRポイント

京都府太秦メディアパーク構想の一環としてVRイノベーションアカデミー京都を東映京都撮影所内で運営。XR・メタバース分野の専門家・起業家育成の教育事業を行う。経済産業省「第四次産業革命スキル習得講座(リスキル講座)」認定「AR/VR専門家育成プログラム」は給付金、助成金を活用した受講が可能。2024年12月にeラーニング講座も開設。

・XR事業に関する概要

XR・メタバース等の最先端分野の教育事業を展開。企業や教育機関のDX、リスキリング、人手不足や次世代育成への貢献をビジョンに掲げる。社員のリスキリングや開発内製化を目指す企業が助成金を活用して受講するケースも増加中。エンジニア派遣事業を行う親会社エスユーエスとの連携も強み。

強み・特徴(知識・技術、企画運営等の強み)

設立当初2年はXRの世界的リーダー企業と業務提携し、世界20箇所以上でXR専門家・起業家を輩出した世界基準のカリキュラムと、世界での開発事例の技術・ノウハウ移転を受け、その後は自社独自で日本市場向けに改善したカリキュラムや産業向けソリューションの企画、開発、販売を行う。

ソリューション事業では、2021年に京都芸術大学様と産学公連携で研究開発した、バーチャルオープンキャンパスをもとに、メタバース空間「VR Meet」を自社商品化し、親会社のエスユーエスが事業継承。2022年には文化庁Living History(生きた歴史体感プログラム)促進事業の一環として、元離宮二条城様向けに「大政奉還をMRグラスを通して体感する」エデュテイメント・アプリをポリュメトリック技術や最新のMRグラスを用いて企画開発し、NHKニュース等で紹介される。

2023年に、「AR/VR専門家育成プログラム」が経済産業省「第四次産業革命スキル習得講座(リスキル講座)」、厚生労働省「専門実践教育訓練給付講座」として認定された後は、教育事業を中心に事業展開。同プログラムは座学2ヵ月+開発実務演習1ヵ月で、XR開発の全プロセスを体系的に学ぶ。2024年10月からは開発実務演習のテーマに、既存の「メタバース開発」のほか、「AR開発」も追加するなど、最新の市場ニーズを取り込み、派遣事業も行うエスユーエスと連携し、ソリューション開発の経験を活かしつつ、産業向け開発の即戦力育成に特化している点の特徴。個人、法人ともに、給付金や助成金を活用した受講が可能。プログラムから基礎講座のみ抜粋した、短期コース②③も厚労省「人材開発支援助成金」が活用可能であり、2024年12月に開設した、eラーニング講座も同助成金の活用が可能。その他、企業や教育機関向けにカスタム研修なども受託している。

XR制作スタッフ

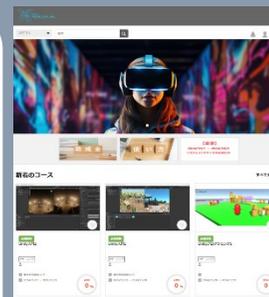
スタッフ	社内の有無	(人数)	協業先の有無
制作企画者	有	3	有
エンジニア	有	2	有
デザイナー	無		有

XRコンテンツ制作実績(URL)

[eラーニング講座\(2024年12月~\)](#)

[Living History in 京都・二条城協議会大政奉還 x MR体感プログラム\(2022年3月\)](#)

[学校法人瓜生山学園 京都芸術大学 バーチャルオープンキャンパス\(メタバース\)の共同研究開発\(2021年4月\)](#)



アワード受賞・報道等の実績

[「AR/VR専門家育成プログラム」が経産省「第四次産業革命スキル習得講座\(Reスキル講座\)」・厚労省「専門実践教育訓練給付講座」に認定\(2023年2月\)](#)

[「XR Kaigi 2020 Awards」アクティビティ部門 優秀賞 受賞\(2020年12月\)](#)

対応可能言語

日本語
英語